

<お断り>

本メールは、弊社担当コンサルタント経由でご案内させていただいたお客様、弊社イベントにお申し込み頂いたお客様へ、COVID-19およびリスクマネジメント全般に関する最新情報をお届けしております。

本メールがご不要の場合は、メール末尾のお問い合わせ先にご連絡ください。

=====
Thought Leadership
『DXを実現するためのデジタルリスクマネジメントの要諦』
=====

「DXプログラムにおけるリスクマネジメントの取り組み状況」に関する調査結果の考察を通して、Ridgelinezが考えるデジタルリスクマネジメント（以下DRM）のあるべき姿を提言しています。

【目次】

1. 企業を取り巻くリスク環境とDXプログラムの関係
2. DX企業が目指すべきDRMとその現状
3. DRMの実現を妨げる課題
4. DXを成功に導くリスクマネジメントの構築に向けて

<https://www.ridgelinez.com/contents/insight/risk-management-20210325/>

<外部掲載記事>

- ・ デジタル変革の推進ではリスク管理も重要—Ridgelinezが調査 (2021/3/26) [ZDNet Japan]
<https://japan.zdnet.com/article/35168379/>
- ・ Ridgelinez、DX推進の必須課題「デジタルリスクマネジメント」に関する調査結果を発表 (2021/3/26) [クラウドWatch]
<https://cloud.watch.impress.co.jp/docs/news/1314505.html>
- ・ 3つのディフェンスライン (3LOD) とデジタルリスクマネジメント Ridgelinezが示すDXのリスク (2021/3/29) [ITmedia]
<https://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/2103/29/news053.html>
- ・ Ridgelinez、DX施策におけるリスクマネジメントの取り組み状況について調査、DX推進の必須課題となるデジタルリスクマネジメントの要諦を発表 (2021/3/29) [livedoor NEWS]
<https://news.livedoor.com/article/detail/19936040/>

=====
COVID-19およびリスクマネジメント関連最新情報
=====

■COVID-19:緊急事態宣言解除後の取組・水際対策・ほか

緊急事態宣言解除後の継続的な感染拡大防止に向けた取り組みのお願い (2021/3/22) [日本経済団体連合会]

<https://www.keidanren.or.jp/announce/2021/0322.html>

* 今後もテレワークの活用、感染対策等を継続的に徹底することを依頼

新型コロナウイルス感染症に関する新たな水際対策措置（2021/3/18）

[外務省]

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2021C047.html

* ビジネストラック、及びレジデンストラックの一時停止等のルールを通知

コロナ禍の経済への影響に関する基礎データ[内閣官房]

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/seicho/seichosenryakukaigi/dai7/siryou1.pdf>

* 日本と米国の在宅勤務での生産性の違いが明確に（P.9,12）

■ビジネス改革（セキュリティ・テレワーク）

テレワークの適切な導入及び実施の推進のためのガイドライン（2021/3/25）

[厚生労働省]

<https://www.mhlw.go.jp/content/000759470.pdf>

本編

<https://www.mhlw.go.jp/content/000759469.pdf>

企業における営業秘密管理に関する実態調査2020（2021/3/18）

[情報処理推進機構(IPA)]

<https://www.ipa.go.jp/about/press/20210318.html>

* 内部不正の主な漏えい元は中途退職者で、確信犯的な内部不正は減少傾向

新型コロナウイルス感染症の予防にも！働き方改革にも！今こそテレワーク！！

（2021/3/22）[東京テレワーク推進センター]

<https://tokyo-telework.metro.tokyo.lg.jp/news/detail?id=243>

* テレワーク導入事例、東京都の支援を掲載

FIRST CSIRT Services Framework v2.1 日本語版（2021/3/10）

[日本シーサート協議会]

https://www.nca.gr.jp/ttc/first_framework2_1.html

* 「CSIRTが提供するサービスの一覧」（最新版）の日本語訳が公開

=====

Risk Management コラム

『2020年度を振り返る

変化の資産を選び取り、確実に残していくために』

=====

4月	206人	10月	284人
5月	165人	11月	570人
6月	60人	12月	1353人
7月	462人	1月	2520人
8月	472人	2月	734人
9月	276人		

昨年12月にも当コラムで同じ表を作りましたが、改めて昨年4月から2月まで、新型コロナウイルス感染症の新規陽性者数の推移（東京都）について、各月で最多となった一日の人数を拾ってみました。

緊急事態宣言下での準備期間の短いかつ慣れない在宅勤務から始まり、宣言が解除されても職場の衛生対策、出勤者の管理、在宅勤務者の健康のケア、テレ

ワーク環境の最適化、従業員が出勤しなくても良い業務プロセスへの変更、感染者や濃厚接触者の情報が入った際の状況確認や保健所とのやりとり、再びの緊急事態宣言への対応などが続きました。企業の危機管理担当のみなさまは、初めて遭遇する事象への判断を、迷いながら繰り返しされてきた1年だったと思います。

まだ、先が見通せている状況ではありませんが、出口に少しずつ近づいてきている今、今年度起こったまた起こした「変化」のうち、感染症対策が収束した後に残したいものを選び取る時期に来ていると考えます。

例えば、災害時のリモート対策本部運営は、参集時の移動にかかる時間や危険を省略でき、要員のローテーションにもメリットがあります。感染症対策が落ち着いた途端、「集まろう」ということに短絡的にならないように、「このままりモート型の対策本部運営ルールを続けていこう」という話し合いをしておくことで、より確実に資産を残していくことが出来ると考えます。

(議論の結果で集まるという選択をすることは当然あると思いますが、その議論も貴重な資産だと考えます)

まずは、何を残したいか、何故残したいかを小さなことからでもいいのでリスト化し、持ち寄るところから始めてはいかがでしょうか？

非常に小さな話ですが、私は「週3休肝日」を続けていきたいと思っています。。

昨年4月より配信しておりましたRDL-RM Newsは今月号を最後に配信終了となります。これまでご愛顧いただき誠にありがとうございました。

<Ridgelinez COVID-19対策支援サイト>

<https://www.ridgelinez.com/rm-covid19/>

<新型コロナウイルス感染症に関する富士通グループの対応について>

<https://www.fujitsu.com/jp/covid19/>

--- お問い合わせ先 -----

Ridgelinez株式会社 (リッジラインズ) Risk Management Unit

E-mail: RDL-rm-covid19conv@cs.jp.fujitsu.com

Website: <https://www.ridgelinez.com/>

富士通グループはWork Life Shiftを推進しております。

<https://pr.fujitsu.com/jp/news/2020/07/6a.pdf>